

令和8年度予算案の審査

3月の定例会では、新年度の予算について予算委員会で審査を行いました。予算委員会に設置された総務・文教厚生・建設産業の3つの分科会でどのような質疑が交わされたか、その一部をお知らせします。

職員研修事業

問 今後、どのような職員を育てたいと考えていますか。

答 現在は、人事異動やOJTを通じて幅広い経験を積むことで職員全体の資質が向上することを目指しています。今後は、専門知識を持つ職員の育成にも取り組んでいきます。

交通安全推進事業

問 事故を起こした市民について年代別の分析を行い、年代に応じた交通事故対策を実施していますか。

答 年代別の分析は行っていないませんが、保育園、幼稚園、小学校では、交通指導員による交通指導を行っています。



総務分科会

DX推進事業

問 ローコードツール（簡単なアプリ作成ツール）を活用して、どのように業務の改善を図ろうと考えていますか。

答 このツールを活用することで、これまで事業者に発注していたアプリケーションを職員自らが作成できるようになります。すぐに試せる利点があり、それを活かし、各課の業務の効率化や改善を図っていきます。



イノベーション推進事業

問 この事業では、どのようなことに取り組む予定ですか。

答 市や市内事業者の業務の効率化や生産性の向上に取り組んでいきます。また、スタートアップ企業からの良い提案があれば、積極的に取入れていきたいと考えています。

はんだまちづくりひろば運営事業

問 まちづくりひろば公式LINEアカウントは、どのように運用しますか。

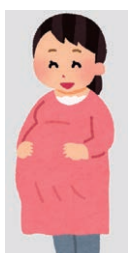
答 はんだまちづくりひろばの登録団体の活動状況や登録団体に発信していくこととしており、団体間の交流を生み、新たな活動へ発展させることを目的としています。

文教厚生分科会

不妊治療費助成事業

問 予算額の考え方と、これまでの成果はどのようなですか。

答 希望者全員が利用できるよう予算を組んでおり、不足すれば補正予算で対応します。令和6年度は165件の申請に対し80件の妊娠が確認されており、1か月の出生数に匹敵する大きな成果が出ています。



子育て支援センター事業

問 こども誰でも通園制度（乳児等通園支援事業）を子育て支援センターで行う理由は何ですか。

答 国の制度設計が十分示されていない中で設置場所を決めなければならなかったため、公共施設での試行が最適と判断したためです。